

2015年8月20日

ロゴゼミ旅行最後のお楽しみは、ホイリゲル (Heuriger) !

あいにくの天候の中、必死で歩いたラックス高原の後は、お買い物を楽しむ方、ホテルで休憩するかたなどそれぞれ自由時間を過ごし、夕方 18 時半にホテルからバスでハイリゲンシュタットにあるホイリゲル (自分の所有するぶどう畑で収穫されたぶどうから作ったワインを提供して、土地のお料理も振る舞う中世からの居酒屋) に向かいました。(宿泊したアナナスホテルの近くの地下鉄の北の終着駅がハイリゲンシュタットだと帰国してから気づきました。)

到着した先は『Mayer am Pfarrplatz (マイヤー・アム・プファールプラッツ)』。この店は 1683 年以来開業を続けているもっとも古いホイリゲルの一つです。1817 年夏にはベートーベンが避暑で滞在し『第九』を作曲したと言われていた建物は指定記念文化財になっています。現在も当時のままのたたずまいが残り、近在からはもちろんのこと、ウィーンからもまた外国からも多くの方がワインを楽しみに訪れています。近くにはベートーベンが遺書を書いた「遺書の家」もあるようです。お店の入り口には新酒が出来上がった印の松の木が吊るされ、ベートーベンハウスと記されていました。

初めてのホイリゲル、どれくらい飲んで、どれくらい食べたらよいのか恐る恐るでしたが、アントレーにウィーナー・シュニツェルが出てきたあとには、ザウワークラウトや燻製の肉、ハムなどの大盛りのお皿が振る舞われ、ウィーン料理を楽しみました。ワインはとても味がまろやかで、皆様お代わりをして楽しまれ、会食の雰囲気も最高潮に達しました。



お開きになって外に出る頃、やっと空も暗くなりました。ウィーン最後の夜は心地よく、穏やかな時間が流れていました。(酒井・勝田レポート)

